＼＼子ども・若者支援情報メルマガ　Vol.105 2025.8月号 ／／

支援情報等のお知らせ

○　子ども・若者支援協議会からのお知らせ
１　第6回「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」を開催します
２　ひきこもり家族教室『将来に向けたお金の見通しの立て方』

○　自立支援に関するイベント等の情報
３　県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ４７」

○　民間活動団体等の紹介
４　桐生市　就労継続支援B型「チームとらねこ」

１　第6回「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」を開催します

ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク（2024年5月設立）と群馬県社会福祉協議会では、第6回「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」を開催します。

近年、ひきこもりや不登校、貧困、虐待、ヤングケアラー等により社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者が顕在化しています。
また、社会との接点の希薄化による孤独・孤立、20代の自殺者数の増加など、子ども・若者を取り巻く課題はますます深刻化しています。
子ども・若者への支援を広げるためには、社会の理解や意識の醸成、関係者間の連携・協働体制の推進が必要です。
支援フォーラムでは、講演会やパネルディスカッションを通じて、これからの子ども・若者支援に求められる視点や子ども・若者への多様なアプローチについて理解を深めるとともに、参加者同士の交流を図ります。

【概要】
日時：令和６年９月２１日（日）　13：00～16：20
会場：群馬県公社総合ビル　多目的ホール（前橋市大渡町1-10-7）
対象：困難な状況にある子ども・若者を支援している個人および団体、
社会福祉協議会職員、行政職員、学校教職員・教育関係者、
社会福祉法人・社会福祉施設職員、障害者施設・事業所職員、
民生委員・児童委員、地域包括支援センター職員
その他 子ども・若者支援に関心のある方
内容
■　講演会（13:10～14:10）
演題　「これからの子ども・若者支援に求められる視点」
講師　大阪府豊中市社協　事務局長　勝部麗子氏

■　パネルディスカッション（14:20～16:20）
テーマ「子ども・若者への多様なアプローチ」
＜パネリスト＞
・不登校と向き合う親の会 さくらんぼの実る頃
代表 湯浅 やよい 氏
・群馬県私立通信制高校等連絡協議会
事務局　丸山 昌利 氏
・NPO法人ぐんま若者応援ネットアリスの広場
代表 佐藤 真人 氏

・渋川市社会福祉協議会
地域福祉課長　登坂 将志 氏
＜コーディネーター＞
・NPO法人 花　理事長　目崎 智恵子 氏

【申込方法】
グーグルフォームにて９月１２日（金）までにお申し込みください。
URL：https://forms.gle/HHYZmFErCTHDYht5A
【問い合わせ先】
群馬県社会福祉協議会地域福祉課（担当：大橋）
TEL　027-255-6032
E-Mail gchiiki@g-shakyo.or.jp

２ 8/26 ひきこもり家族教室『将来に向けたお金の見通しの立て方』

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学ぶことで、ご家族自身の気持ちにゆとりが生まれ、本人との関係性が変化していきます。

【参加者の声】
「皆さんのお話から元気をいただけた」
「工夫できるところが見つかった」
「気持ちに余裕が持てるようになった」
「選択肢が広がった」 etc...

■教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、下記連絡先までご連絡ください。

■家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。
こちらからダウンロードしてください。
https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html

【8月の家族教室】
教　室：8月26日（火）　第４火曜日　13:30～16:00
前　半：家族教室　13:30～15:00（受付13:00）
講話　「将来に向けたお金の見通しの立て方」
講師　働けない子どものお金を考える会
ファイナンシャルプランナー　村井英一氏
後　半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）
◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。
◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。
会　場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町３６８）
連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル　027-287-1121
月～金 9:00～17:00 （ 祝日・年末年始は除く ）
※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。

※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

３　群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ４７」　花火によるやけどに気をつけましょう

夏は花火の季節です。ご家族やご友人と手持ち花火を楽しむ機会もあることでしょう。そんな時に思わぬ事故に遭わないよう、今回は手持ち花火を楽しむ際に注意するポイントを紹介します。

・花火によるやけどは、１歳～３歳の子どもで多くなっています。
　花火で遊ぶときは必ず大人が付き添いましょう。
・３歳以下の子どもに花火を持たせることは避け、距離を置いて見せるなどして楽しむようにしましょう。
・花火をしている人の風下には行かないようにしましょう。
　また、風が強い場合は中止も検討しましょう。
・肌の露出が多い服や履物の場合、火花等でやけどしてしまう危険性が高まります。裾が広がった服などに着火する事故も起きていますので、服装にも注意しましょう。
　万が一着衣に着火した場合の対処法も事前に確認しておきましょう。
・消火用の水は必ず用意しましょう。
・製品に記載されている注意事項を確認しましょう。

★こまったら、まず相談！！
　消費者ホットライン「１８８（いやや）」
　※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通３桁の電話番号です

《お問い合わせ》
　群馬県消費生活センター　０２７－２２３－３００１
　https://www.pref.gunma.jp/page/8392.html

４　民間活動団体等　桐生市　就労継続支援B型「チームとらねこ」

桐生市でフリースクール「あんしゃ」を運営するＮＰＯ法人unchaが、ＷＥＢデザイン会社と連携して、デザインアート、写真、動画撮影などを行う就労継続支援B型「チームとらねこ」を４月に開所しました。

作業内容は、デジタルのイラスト制作や写真・動画撮影、動画編集、広告や名刺といった印刷物デザインで、連携するプロ集団が監修・指導します。企業が必要とするスキルを持った人材育成につながることも期待されます。
単純な作業ではなく、ペンタブレットを使用して好きな絵を描いたりデザインを制作したりして脳を活性化して自信をつけていきます。実際に企業のデザイン依頼を受けて作業をする場合もあります。そして一般企業への就職を支援していきます。

チームとらねこの活動内容はこちらをご覧ください。
　https://teamtoraneko.com/

今年４月、利用者の一人である「わだひびき」さんの作品が、全国の障害者芸術作品が集まる「Art to You！障がい者芸術世界展in SENDAI」で入選しました。
作品の紹介記事が「みんなの学校」（令和６年６月２日配信）に掲載されています。
　https://np-schools.com/news/14053

利用者は福祉サービスで身体障害、知的障害、精神障害の方がいます。

令和６年４月から精神障害（精神疾患）の他に、発達障害：ADHD（注意欠陥多動性障害）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）の方も主治医の診断書や「自立支援医療受給者証」などがあれば利用が申請できます。

好きなデザインの技術を高めていくことで、人と関わることが苦手で「働きにくさ」を感じている方が、自信を持って働けるように支援していくことが私たちの願いでもあります。

次号は、2025年9月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

群馬県子ども・若者支援協議会

▼ 事務局　群馬県前橋市大手町１－１－１　群馬県生活こども部
　　私学・青少年課内（県庁舎　１２階南フロア）
▼ ＴＥＬ　０２７－８９８－３５５７
▼ e-mail　kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
▼ ＨＰ　https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3
　　県HP「子ども・若者への支援」